

第 69 回 和歌山市医師会医学学会総会 ご 案 内

日時 ▶ 平成 30 年 11 月 10 日 (土) 午後 3 時
場所 ▶ 和歌山ビッグ愛 4 階 和歌山市医師会大会議室

- 3:00 会長挨拶 和歌山市医師会会長 宮崎 孝夫
3:10 特別講演 座長：和歌山市医師会会長 宮崎 孝夫

演 題 『2040～2060年「異次元高齢社会」で、世界最先端医学を担う医療の主演「地域医療医」に期待する……日本医師会提案「新健康概念」2018年から考える』

講 師 一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事 長谷川 敏彦 先生

日本は人類に先駆けて、歴史上未だかつて存在したことの無い高齢社会に突入し、別の国に変貌する。65歳以上人口割合をみると、日本は2018年に28.2%、2007年にすでにWHO定義の超高齢社会21%をこえ定義のない異次元社会に到達した。2040年ごろには35%、2055年ごろ38%程度となりその後安定する。この間、外来患者はすでに減少を始め、入院患者は2035年頃まで増加した後横ばいになり2060年頃から減少する。その年齢構成は75歳以上に傾き、在宅を含め地域での高齢者が時折入院ケアを必要とする、いわゆるケアサイクルに入った要介護要支援者層が中心となる。加えて治療の目標が「救命・治療」から「疾病や不自由があっても生き生き元気に暮らし・死に際して良き人生であったと振り返れる」に転換する。現在の医学の体系は、1800年代後半ドイツで開発された還元主義的特定病因論をもとに組み立てられ、中期期までの1疾患1発症1治療には有効な概念であったかもしれないが多疾患、多発症の高齢者には有用でない。対象も、目標も、技術も、専門家も、提供体制も、財源も、病因論も新たな最先端医療体系が求められている。それを担う当事者は、病院医ではなく地域医療医であり、日本が新たな医学の研究開発の現場となる。2018年6月に提案された日本の医師会の「新たな健康の概念」が、その作業の導く有用な道標となる。

主な経歴：

職 歴	学 位
1975年6月 米国ミルウォーキー市聖ヨセフ病院 外科レジデント	1981年9月 修士号 公衆衛生学 ハーバード大学
1983年8月 滋賀医科大学第一外科学教室助手	2002年12月 博士号 医学 東京大学
1986年6月 厚生省健康政策局計画課課長補佐	主 著
1986年7月 国立がんセンター運営部企画室長	長谷川敏彦編著： 病院経営戦略、医学書院、2002.3 病院経営のための在院日数短縮戦略、医学書院、2001.6 医療安全管理事典、朝倉書店、2006.6.15 医療を経済する 質・効率・お金の最適バランスをめぐる、医学書院、2006. 高齢を喜べるまちづくり…愛知への提言 杉財団、2016.5
1988年4月 厚生省大臣官房老人保健部老人保健課課長補佐	長谷川敏彦分担執筆： 地域医療連携—医療と公衆衛生のパラダイムシフト 衛生・公衆衛生の展望、新簡明衛生公衆衛生、2010.1.10、南山堂 老いる都市と医療を再生する—まちなか集積医療の実現策の提示—、NIRA 研究報告書、総合研究開発機構、2012.1 地域連携医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援 オーム社、2013.11 ケアサイクル論…21世紀の予防・医療・介護統合ケアの基礎理論 社会保障研究、2016.4 公衆衛生委員会答申「健康寿命延伸のための予防・健康づくりのあり方」 2018.6.6 第2章 健康、健康寿命の定義
1989年10月 国際協力事業団医療協力部医療協力課課長	
1992年7月 厚生省九州地方医務局次長	
1995年6月 国立医療・病院管理研究所医療政策研究部長	
2002年4月 国立医療・病院管理研究所と国立公衆衛生院が統合され、国立保健医療科学院発足、政策科学部長	
2006年7月 日本医科大学 医療管理学教室 主任教授	
2013年4月 日本医科大学 特任教授	
2013年12月 同 退職	
学 歴	
1966年3月 大阪府立天王寺高等学校卒業	
1972年3月 大阪大学医学部医学進学課程卒業	
1981年6月 米国ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程卒業	
医師免許	
1972年3月 日本国医師免許	
1976年11月～1980年1月 米国ミシガン州、ウィスコンシン州、マサチューセッツ州医師免許	
1981年9月 米国外科専門医資格	

支援した主要医療政策	日本医科大学 医療管理学教授時代
厚生省老人保健課補佐時代 1986 寝たきり老人ゼロ作戦 (予防)	2006 医師必要数推計 (資源)
国立医療・病院管理研究所 医療政策研究部長時代 1998 健康日本 21 基本概念 (予防)	2007 診療情報提供制度 (資源)
2002 医療安全事故防止政策 (経営)	2012 多摩ケアサイクルプロジェクト (全体)
2003 患者満足の測定 (経営)	未来医療研究機構
国立保健医療科学院 政策科学研究部長時代 2003 スリランカ国国家医療計画 (制度)	2014 滋賀 19 市町地域包括ケア需要分析プロジェクト
2004 日本地域医療計画新概念 (制度)	2015 東京都・愛知県の大都市、秋田山形兵庫鳥根地方都市地域ケアの研究

4:30 閉会挨拶 和歌山市医師会副会長 角谷 正文

★希望により託児室を開設します。2週間前迄にお申出下さい。和歌山市医師会【TEL (073) 435-5199】